



意表を突くデモが教える 「選挙でなくても民意は示せる！」

「石破首相では選挙に勝てないという民意が示された」（麻生・自民党最高顧問）……国民の意思である民意を、選挙云々の自民目線に誤変換してしまった超トンチンカン発言！ですが、彼のミゾーユーの日本語音痴もさることながら、実は私たち有権者が、ウソと悪政がスーツを着ていたような3代前の首相を選挙で勝たせ続け、「国民を騙して選挙に勝つのが総理の仕事」という傲慢で薄っぺらな政治観を、彼らの腹の底に植え付けてしまったんだと、自ら深く反省しています。

いや失礼、すでに反省を行動に生かす動きが始まっていました。自公惨敗直後にまさかの「石破やめるなデモ」、そして世論調査での内閣支持率急回復（政権に甘い傾向を見事逆手にとった？）という鮮やかな「奇襲」が、「民意は石破おろしじゃなく自公おろしだぞ、究極ヘタレの石破首相ですら、裏金・脱税をすべて他人のせいにしてふんぞり返るお前たちよりはマシ……まあ究極の選択だけだな」と、麻生派や旧安倍派などの動きに五寸釘をさしました。さあ、このボロボロ自公とくつついて共倒れする野党が出てくるのか、ちょっと楽観的に成り行きを注視していきましょう。

一方で心配なのは、恐れが現実となった参政党の躍進です。（同党のトンデモな危険性については前号で萱野さんが詳しく書いてくださっています）

神谷代表は、ついに質問権を得た参院予算委で、WHOからの脱退、パリ協定からの離脱、多様性推進政策の放棄、ウクライナ支援の停止など、米・トランプ政権の政道にも人道にももてる政策を具体的に挙げた上で、関税交渉のカードとして、これらについてトランプと足並みをそろえてみせる気はないかと石破首相に迫りました。背筋に液体窒素を吹きかけられたような思いがしたのは、私だけではないでしょう。

すでに「あちらで化けの皮が、こちらでボロが、そちらで馬脚が」状態の参政党は、石丸某同様に早晚勢いが落ちると予想はしていますが、参院14議席というトゲは6年間ささり続けます。やはり投票結果を深く反省しつつ、当分やってこない選挙以外の、奇策（??）を含めた民意発信の方法を考えていきたいところです。

（梅丘1丁目・真藤 一彦）

国会の状況 — 憲法審査会の動きに注目

先の参議院議員選挙の結果、自民党は歴史的な敗北をしましたが、改憲を進める会派の議員はほぼ77%を占めました。憲法審査会については、会長は立憲民主党から選ばれましたが、委員数では改憲派が77%強となりました。改憲の方向について必ずしも一致しているわけではありません。ただ、任期が固定されていて6年間もありますから、今後の「改憲」政党の動きには今まで以上に注意が必要です。特に参政党からは、幹事として、「新日本憲法（構想案）」をまとめた創憲チーム代表の安達悠司氏が就き、委員に「核武装が安上がり」と主張した東京選挙区選出のさや氏が入るなどしています。

衆議院では、改憲派は全議員数に対して3分の2を越えてはいません。3分の1以上の議員がいるというのは、改憲の発議をさせないという点では大きな障壁となります。憲法審査会の論議については、「憲法を生かす」、「違憲状態を質す」という視点を強めてほしいものだと思います。

（代田2丁目・伊東 宏）



青年劇場「あの夏の絵」を観て

7月3日狛江公演に行きました。この舞台は、青年劇場の福山啓子さんが、1年にわたり現地取材を重ね、2015年が初演です。2017年から全国公演を重ねています。広島市立基町高校創造表現科の生徒による「次世代と描く原爆の絵」の取り組みがモデルになっています。NHKでも放送されたと思います。

被爆者を祖父母にもつ高校1年の美術部員が迷いながらも「被爆を聞いて絵に描く」取り組みに参加し、他の部員2人と一っしょに描いていきます。証言する方も、話しているうちに記憶がよみがえってきます。3人で現場を見に行ったり、葛藤しながら、何回も描き直し、完成させていきます。

この公演は、「あの夏の絵」狛江公演を成功させる会の主催でした。狛江市は、昭和57年(1982)6月21日に市議会全会一致で狛江市平和都市宣言を採択しています。高校生が読み上げてくれました。すばらしい宣言です。「日本国憲法前文」・第9条を狛江市民の行動原理として高く掲げたい。核兵器完全禁止・軍縮、全世界の非核武装化に向けて努力する(かなり抜粋してます)と宣言しています。

今年は戦後・被爆80年、体験者から直接話しを聞く機会は少なくなっています。以前舞台を観た70代の方は「世代を超えて記憶に伝える作品。今こそ、若者に伝えたい内容でした」と。まったく同感です。被団協の田中代表は「イベントを一回やって終わりというのではなく、ずっと続く運動にしていかなければなりません。そういう意味ではこの舞台はもってこい、素晴らしい舞台です」とメッセージを寄せてくれています。被爆者の思いを受け継いで行けたらと思います。

(代田4丁目・萱野 幸子)

集 会 等 の 紹 介

8月23日(土) 13:30～16時ころ 終戦記念日によせて

紙芝居とお話:「原爆の子 さだ子の願い」(脚本:宮崎二美枝)

渡辺 美佐子さん (一般社団法人アニマシオントイ代表
元都立光明特別支援学校教員)

お話 :「核なき世界を望む被爆者の思い」

家島 昌志さん (ノーベル平和賞受賞式出席
東友会代表理事・日本被団協代表理事)

場所 : 東京都民教会・礼拝堂

参加費: 500円

主催 : 代田・九条の会

10月26日(日) 13:30～16時ころ 講演会

講演: 前川 喜平さん

場所 : 保健医療福祉総合プラザ(うめとびあ)会議室

主催 : 九条の会まつざわ 共催: 代田・九条の会、代沢九条の会

代田・九条の会 訃報

この7月に代田・九条の会で創立以来、中心的に働いてくださった方を二人亡くしました。

7月 6日: 野間口 至さん(代田5丁目)

31日: 岩瀬 薫さん(代田1丁目)

心よりご冥福をお祈りします。

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、

「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～

+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++